

■研究科の概要

研究科	専攻	授与学位	標準修業年限	入学定員
福祉社会開発研究科	社会福祉学専攻 博士課程	博士（社会福祉学）	3年	8名
	福祉経営専攻 博士課程	博士（福祉経営）	3年	2名
	国際社会開発専攻 博士課程（通信教育）	博士（開発学）	3年	4名

ご挨拶

日本福祉大学 大学院委員長
福祉社会開発研究科長 児玉 善郎



日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科は、社会福祉学専攻、福祉経営専攻、国際社会開発専攻（通信教育）の3専攻を有し、新たな福祉社会開発学の構築を目指す、全国的にも類をみない学際的な大学院博士課程です。それぞれの専攻において、博士（社会福祉学）、博士（福祉経営）、博士（開発学）の学位を授与します。

福祉社会開発研究科は、これまでにあった社会福祉学研究科、情報・経営開発研究科、国際社会開発研究科（通信教育）という3つの研究科の博士後期課程を2007年度に統合したものです。統合する契機となったのは、2003年度から4年間にわたり、文部科学省「21世紀COEプログラム」に福祉系大学としては全国で唯一採択されて、「福祉社会開発の政策科学形成へのアジア拠点」という研究プロジェクトを実施したことにさかのぼります。この研究プロジェクトでは、先進国の高齢者ケアを中心とする福祉分野の政策科学・評価研究と発展途上国の貧困地帯における参加型社会開発研究を融合して、「福祉社会開発学」という新しい学問領域の構築を展望しました。この研究成果として、『福祉社会開発学の構築』（ミネルヴァ書房、2005年）、『福祉社会開発学 理論・政策・実際』（ミネルヴァ書房、2008年）という2冊を刊行しています。

福祉社会開発研究科では、学位取得のために次の3点を特徴とした教育プログラムを用意しています。第1は、博士学位請求論文の執筆に向けて、段階的な研究指導体制を整備していることです。具体的には、2年次の後期以降に申請が可能となる執筆資格審査を博士学位取得に向けた中間段階のハードルとして用意し、論文の計画的執筆と水準の確保を図る仕組みとしています。第2は、主指導教員に加えて、1年次当初から副指導教員を配置し、複数指導体制により多面的な研究指導の機会を確保している点です。第3は、大学院生の研究成果の公表の場として、本学大学院が学術研究誌『福祉社会開発研究』を発行し、査読付き論文の投稿機会を確保していることです。

各分野で活躍する多彩な教授陣のもとで、これからの福祉社会開発の構築に寄与する研究に取り組むことを志して、本大学院の門を叩かれることを期待しています。

■入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

社会福祉学専攻 博士課程

社会福祉に関連する分野における基礎的な研究能力を身に付けており、さらに社会福祉分野における専門研究者としての研究力、指導力を身につけたい人を受け入れます。

福祉経営専攻 博士課程

医療・福祉経営に関連する分野について基礎的な素養を身につけており、さらに高度専門職業人もしくは研究者としての資質の獲得を目指す人を受け入れます。

国際社会開発専攻 博士課程（通信教育）

国際社会開発や開発教育領域での専門職業人を育成できる高度な研究者や指導的専門家として、開発学的方法論を自ら発展させつつ実践的経験を論理化し、普遍化できる総合的な能力を身につけようとする人を受け入れます。